

令和2年度 児童発達支援 事業者向け自己評価表

のびの木茅ヶ崎本村

	チェック項目	はい	いいえ	ご意見
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		●適切であると思われる。
	② 職員の配置数は適切であるか	○		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○		●児童発達支援の際は掲示物を外し、視覚刺激が少なくなるように配慮している。 ●視覚刺激を抑えており、玄関のみステップがある。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		●常に活動スペースは確保され活動の切り替え時にも環境設定されている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		●月に一度全職員でミーティングする場がある。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	○		●ニーズに対しなるべく応える努力は行っている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等に公開しているか	○		
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	●まだ実施できていないが会社として検討が必要。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		●コロナの為、機会は減ったものの事業所内でできる限り実施している。 ●月に一度職員でミーティングを行う場がある。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		●中間評価を元に保護者面談ニーズを把握、考察し計画を立てている。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		●会社全体でフォーマットを統一、標準化している
	⑫ 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		●プログラムに対して指導はしているがチーム全体で考える点では不十分。 ●毎週メインの活動を変更している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		●運動、創作での集団活動、自由遊びでの個別活動を実施している。	

	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		●朝礼にて行われている。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		●打ち合わせについては不十分であるが申し送りノートで共有している。 ●水・金以外の送迎後、気になった点については共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		●ケース記録、ヒヤリハット、身体拘束など。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		●半年に一度行っている。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		●必要に応じて実施している。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		●今はないがツールはある。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		●必要に応じて実施している。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		●必要に応じて実施している。 ●送迎時等で共有している。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携、助言や研修を受けているか	○		●必要に応じて実施している。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	●公園では触れ合うようにしている。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	●コロナ禍なのでなかった。
		㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		●必要に応じてアドバイスを行っている。 ●児童発達支援管理責任者が行っている。
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		●契約時に行っている。 ●管理者が行っている。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		●日々の会話の中で行っている。 ●児童発達支援管理責任者が行っている。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	●実施できていない。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		●のびの木便り ●ホームページの活動の様子
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		●事業所内に掲示されている。 ●年2回実施している。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		●年2回実施している。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○		●契約時に確認している。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		●今はいない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		●回覧や全体会議等で全職員に周知している。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		